

教科名		生活	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	東京書籍	大日本図書
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語や算数など、他教科で身に付いた資質・能力を、児童の具体的な思いや願いを実現する中で活用できるように学習活動を設定しており、他教科の学力向上につながる配慮がされている。</li> <li>・上下巻とも巻末の「べんりてちょう」で、低学年の時期に身に付けたい基礎・基本を示している。</li> <li>・上下巻ともに季節のページがあることで、季節のよる変化を意識し、3年生への理科につながる視点をもつことができる。</li> <li>・他教科とのつながりが分かりやすく示されるため、児童も教師も意識して学習を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末の資料「がくしゅうどうぐばこ」において、豊富な資料が掲載され、活動に即して基本的な知識や技能の習得が図られるよう配慮されている。また、植物の名前やインタビューの仕方などを必要に応じて繰り返し参考にし、学びを深めることができる。</li> <li>・ページ左側の「せいかつことば」で、その単元に関連付けて語彙を学ぶことができる。</li> <li>・3年生からの理科・社会科を意識した活動や学習が多く設定されており、学びを次につなげることができる。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上巻は体験活動と表現活動が一体的に扱われていて、季節のまとまりごとに発達に合ったまとめの活動が例示されている。</li> <li>・単元「学びをふかめるコーナー」によって、友達との対話の中で気づきが深まったり、考えが広がったりすることを実感を伴って学ぶことができる。</li> <li>・単元「つながる広がるわたしたちの生活」で、①課題を見付け(テーマを決め)、②それをさらに詳しく調べ、③伝え方を考え、④表現するという流れを掲載している。この流れを参考にしながら児童がテーマを決め、それを深め、表現するという学習活動を展開しやすい。</li> <li>・下巻で考え深める手だてを多様に掲載している。繰り返し考えを深めるために、視点を児童に指導する中で自分で意識できるようになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・答えを示すのではなく、児童自身に考えさせる投げかけが意識されている。物を作る活動では、試したり、工夫したりする活動が自然に生まれるよう材料や道具のコーナーなどの教室環境の工夫が示されている。また、動作化や劇化など多様な表現方法が例示されている。</li> <li>・各ページにあるイラストの児童の吹き出しから、比べる・繰り返し試す・工夫するといった話し合いの中で思考が深まる場面が多様にあり、イメージしながら学習を進めることができる。</li> <li>・「自分ほっけん」の単元では、自分で「いつごろの自分のことを調べるか」を決め、「誰に聞くか」も決めて調査し、分かったことをまとめるという、総合的な学習の時間につながる探究活動が設定されている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導要領の内容のまとまりごとに単元が設定され、柔軟に単元を組み替えることができる。</li> <li>・タブレットを使った写真の記録や紹介、電子黒板を使った発表等を示している。ICT機器を低学年から適切に使用できるよう考えられている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国にルーツをもつ児童を取り上げたり、郷土や地域、環境、防災など現代に即した内容となっている。授業時間内に十分な活動が行えるよう精選されている。</li> <li>・タブレットを使った写真の記録や紹介、電子黒板を使った発表等を示している。ICT機器を低学年から適切に使用できるよう考えられている。</li> <li>・下巻「せかいのなまか」という資料で、生活科と関連付けて日本や海外の文化についての理解を広げることができる。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然を利用して、思い切り遊んだり、遊びに使うものを作ったりする学習活動を豊富に掲載するなど、環境に関する教育の充実が配慮されている。また、外来種との適切な関わり方を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>・「ポケットずかん」では、実物大の大きさで植物や生き物を掲載している。</li> <li>・生態系に大きな影響を与える「アメリカザリガニ」についての注意書きがされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土や地域、環境、生命の尊重、心身の健康の保持増進、食生活、防災などの持続可能な社会づくりに向けた視点が取り入れられている。</li> <li>・栽培活動の単元では、栽培だけでなく食べる場面まで掲載している。それにより、最後まで大切に育てようという意欲を高めることができる。</li> </ul>
B 使用上の 便宜 について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学びをふかめる」というコーナーがあり、主体的に対話的な学びが意識されている。また、「かつどうべんりてちょう」など、見付けたり比べたりといった気づきを質的に高め、主体的に学べるような活動の工夫がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の導入が工夫されている。伝え合う場面が適切に配置され、気づきを共有化し、次への意欲や活動へとつながるように配慮されており、気づきの質が高まり、深い学びになるような工夫が見られる。</li> <li>・「がっこうとなかよし」の単元では、探検カメラがあることで意欲が高まりたくさんの気づきをもつことができる。</li> <li>・ページの中の吹き出しで、そのページで何をやるのかが端的な言葉で示されており、教科書を参考にやることをイメージして学習を進めることができる。</li> <li>・「がくしゅうどうぐばこ」を中心に発展的な内容が多く記載されており、より調べたい、知りたいという思いや願いを実現させることができる。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境教育やESDが配慮され、地域の実態に即している。</li> <li>・スタートカリキュラムに即した内容が上巻の始めに記載されており、スタートカリキュラムの推進につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な地域で働いたり、生活したりしている人々に繰り返し関わり、地域のよさに気づき愛着をもてるような内容になっている。</li> <li>・スタートカリキュラムに即した内容が上巻の始めに記載されており、スタートカリキュラムの推進につながる。</li> </ul>

教科名		生活	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	学校図書	教育出版
A 内容 について	(1) 基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な体験活動を通して、幅広い知識や基本的な技能が身に付けられるよう工夫されている。また、生活科の目標から、6つの「力」を抽出し、サイコロに当てはめ、発揮すると効果的な力について各小単元に明示することで、児童が意識してその力を高められるよう工夫されている。</li> <li>・栽培単元の「かんさつカード」の書き方を見開きで詳しく示している。観察の視点を意識して繰り返し丁寧に観察する活動が設定されており、観察の技能が高まる。</li> <li>・巻末の「学び方図鑑」の掲載によって、話す・聞く・見る・考える・書くといった学ぶ力を付けるための「わざ」を繰り返し学習の中で意識できる。また、自分でできたかどうかを振り返る欄があるため、振り返りながら身に付けた力の自覚を促すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・諸感覚を使って「見つける」、「比べる」、「工夫する」などが繰り返し掲載され、基礎・基本の定着を確実に図れるよう工夫されている。「学びのポケット」では、対象を見る視点が座標軸で表現されている。</li> <li>・生活科の教科目標から抽出した6つの力を各ページに示している。児童がどの力を使って学習を進めたらよいか分かり、その力を意識して学習を進めていくことで力が高まっていく。</li> <li>・巻末の「学びのポケット」で、各教科の結び付きや生活科での学びが具体的に示されている。繰り返し学習の中で使うだけでなく、各教科とのつながりにも気付くことができる。</li> </ul>
	(2) 課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・話し合っ課題を解決する、友達の意見を聞きながら表現する場面を多様に掲載している。それにより、話し合いや学び合いの中で考えが深まる授業を展開しやすい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・板書を通して児童の思考を「見える化」したり、児童の思考力を高める教師の関わり方が例示されている。</li> <li>・単元の終末に振り返りのページが設定されていることにより、学習で何を感じ、これからどうしていきたいのかをじっくりと考えることができる。</li> <li>・まち探検後の「体験を伝え合おう」の単元で、表現方法やそのための工夫を分かりやすくつかむことができる。</li> <li>・多様な板書例で、児童の思考を視覚的に示す工夫がされている。より考えを広げ、深めることにつながる。</li> <li>・「ヒント」としてページの右端に、諸感覚を使って見付けたり、比べたり、例えたり、試したり、見通したりする視点を示している。それにより、ただのするだけの活動ではなく一段と気付きの質が深まる。</li> </ul>
	(3) 資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なぜ、どうして、やってみよう、知りたい、楽しいなどの疑問や意欲を引き出すことに重点を置いて編集により、資料が適切に提示されている。</li> <li>・デジタルカメラ・タブレットでの写真の撮り方やインターネットでの調べ方を掲載している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災や人権・福祉、国際理解など、様々な教育課題に配慮され、時代に即した内容になっている。</li> <li>・デジタルカメラ・タブレットでの写真の撮り方やインターネットでの調べ方を掲載している。</li> </ul>
	(4) 持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3Rや外来種など、環境問題に対する資料が掲載されていたり、動植物を必要以上に採取しない呼びかけなど、環境保全への意識を育むよう配慮されている。</li> <li>・昔遊びに挑戦では、伝統を大切にしようとする思いをもつことができる。</li> <li>・「作ってあそぼう」の単元では、気に入ったおもちゃにシールを貼ってもらう場面を設けている。これにより、遊び方やおもちゃをもっと工夫・改良しようという思いをもたせるだけでなく、よりよいものにするために考える力を育てたり、自分の考えを友達に伝えたりと、学びを深めたものにする工夫がされている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・動植物を育てたり、文化が異なる人々と関わったりする活動を通して、多様性を原動力に、質的な豊かさを伴った個人と社会の成長につながる新たな価値を生み出すことができるよう配慮されている。</li> <li>・「もしも…」と問いかけるページが設定されている。予測困難な社会の変化に主体的に関われる豊かな想像力を育てることができる。</li> <li>・「ちぎゅうとなかよし」という資料で、3Rについて紹介している。こうした資料を基に道具や材料を大切に使ったり、しっかりとゴミを分別したり、環境に目を向けることができる児童を育てることができる。</li> </ul>
B 使用上の 便宜 について	(1) 児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の願いに対して児童自身が決める「自己決定する」場面を設けている。</li> <li>・上巻の最初は、絵を中心とした振り返りカードを掲載したり、カタカナ表記がなかったりと発達段階に合わせたつくりとなっており、児童自身が参考にしやすい。</li> <li>・「ものしりノート」が単元ごとに掲載されたおり、おもちゃの作り方、春のあそびなど、教科書を参考にしながら作ったり遊んだりすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・何を感じ、どのようにしたいか、これからの活動や生活をどう創っていくかなどを、じっくり考えるページが設けられていることにより、次の学習への目標をもてるよう配慮されている。</li> <li>・上下巻ともに、季節のページでは同じ絵の様子を変えて繰り返し示している。児童は絵を比べて季節の移り変わりに気付くことができる。</li> <li>・野菜の育て方図鑑、おもちゃ図鑑など、教科書を参考にしながら自分で作ったり遊んだりすることができる。</li> <li>・クイズのページに答えがなく、「調べたい」という気持ちをもたせる工夫がされている。</li> <li>・振り返りの場面で満足度を「はしご」に示すことができる。自信をもって、「次はもっとこうしたい」という意欲をもつことができる。</li> </ul>
	(2) 多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探検、遊び、飼育、栽培、家族・成長と、活動内容が整理され、地域の実態に即している。</li> <li>・スタートカリキュラムに即した内容が上巻の始めに記載されており、スタートカリキュラムの推進につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ユニバーサルデザインや豊富な体験活動など、地域の実態に即している。</li> <li>・スタートカリキュラムに即した内容が上巻の始めに記載されており、スタートカリキュラムの推進につながる。</li> <li>・「幼児期の終わりまでに育ててほしい10の姿」の一例が示されているため、これからスタートカリキュラムを導入する学校においても取り組みやすい。</li> </ul>

教科名		生活	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点	発行者名	光村図書出版	新興出版社啓林館
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・確かな学力を育てるため、単元の構成が工夫され、主体的な学びや対話的な学びが工夫されている。</li> <li>・「ホッパーステップ→ジャンプ」の3段階構成で活動の流れを分かりやすく示すことで、児童の主体的な活動が実現しやすいように工夫されている。</li> <li>・巻末の学習図鑑で、調べ方、記録の仕方、考えを深める手だて、表現方法等を繰り返し学習の中で意識させていくことで学び方の定着を図ることができる。</li> <li>・紙面右上の「こんなときどうしよう」のコーナーから、その学習で必要な知識・技能を学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・紙面右上に学習活動に「こんなときどうしよう」などのコーナーが掲載され、必要な知識・技能の確実な育成が図れるよう工夫されている。</li> <li>・「わくわく→いきいき→ぐんぐん」の3段階構成で活動の流れを分かりやすく示すことで、児童の主体的な活動が実現しやすいように工夫されている。</li> <li>・巻末の学習図鑑で、調べ方、記録の仕方、考えを深める手だて、表現方法等を繰り返し学習の中で意識させていくことで定着を図ることができる。</li> </ul>
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動と表現活動の相互作用の中で、個々に気付いたり、関連付けたり、視点を変えて捉えたりすることを意図した深い学びの具体例が随所に位置付けられている。</li> <li>・「広がれ わたし」の単元では、自分で課題を決め、情報収集したり、整理し、まとめる活動を行うことによって総合的な学習の時間につながる思考力や表現力を育てることができる。</li> <li>・単元の終末に振り返りのページが設定されている。その振り返りは、対話的なものが多く、話し合いや学び合の中から気付きの質を高めていくことができる。</li> <li>・単元ごとに児童に考えさせたい点を示した「どうすれば」コーナーに、活動を深めるためのヒントだけでなく、「他にあるかな?」と「はてな」を入れることで、思考力を高めることが意識されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・見る、聞く、触れる、作る、探す、育てる、遊ぶなどの学習対象に直接働きかける体験活動や、その活動を通して気付いたことなどを言葉、絵、動作、劇化等の多様な方法で表現する活動が豊富に掲載されている。</li> <li>・学習(体験)を通じた気付きから、次の活動が始まるように単元が設定されており、児童の思いや願いを大切に、気付きが深まることが意図されている。</li> <li>・他教科との関連を図りながら、伝え合い、表現する場面が多様に掲載されている。「まちのすてきつたえたい」の単元では、まちのすてきを積み、どのように伝えるかを考え準備をするなど、自分でテーマを決め、課題解決のために考えて取り組む学習が設定されている。</li> </ul>
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の心を揺さぶり、活動を広げる豊富かつ精選された資料が準備されている。</li> <li>・防災、安全等の扱いとして、QRコードを活用し、安全に関する動画を見ることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や福祉、ユニバーサルデザインなどの配慮がなされ、資料が精選されている。また、多様な生活環境への配慮がなされた資料が提示されている。</li> <li>・ICTを活用した発表の場面、写真や動画の撮り方、発展として「世界とつながろう」ではオリンピックに関する資料が掲載されている。</li> <li>・紙面にQRコードが掲載されており、学習内容と関連する参考資料をタブレット端末で閲覧できるようになっている。これにより、家庭などでも学ぶことができる。</li> </ul>
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・四季を通じて自然に触れる活動や、飼育単元終了後の生物の取り扱い方を示すなどの工夫がある。</li> <li>・各地域の伝統行事などを示し、児童が身近な伝統や文化に目を向けるきっかけを与え、自国の文化の理解の基礎を培うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校内のピオトープ、落ち葉での堆肥づくり、リサイクルなど、環境に目を向けさせ、自然のすばらしさを実感し、大切にすることを育つよう配慮されている。</li> <li>・「大切に使う」のページで、3Rについての掲載がある。</li> </ul>
B 使用上の 便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各単元を「ホッパーステップ→ジャンプ」の3段階で構成し、学習過程に沿って確実に力が身に付くように工夫されている。また、スタートカリキュラムのページが設けられている。</li> <li>・想像を広げることができる絵の資料が導入のページに多く、活動に意欲をもつことができる。</li> <li>・シールに、その活動で「取り組んだこと」や「もっとやってみよう」を楽しんで書き残すことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「わくわく→いきいき→ぐんぐん」の3段階構成で、主体的に学習を進められる工夫がされている。</li> <li>・「わくわくボックス」として、単元の導入で「やってみよう」と思える図や写真、活動等が多様に掲載され、活動への意欲を高めることができる。</li> <li>・「新しいこといっぱい」という下巻の最初の単元で、2年生になって挑戦したいこと、2年生の生活科でやってみようことを考え取り組む単元の流れが、児童の思いや願いに沿っている。</li> </ul>
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に触れる活動が豊富に用意され、自然豊かな多摩市の実態に即している。</li> <li>・スタートカリキュラムに即した内容が上巻の始めに記載されており、スタートカリキュラムの推進につながる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な児童に配慮した構成や、家庭環境への配慮が十分されている。</li> <li>・下巻の季節のページでは、その季節に合わせた地域の行事を示している。多摩市の様子と比較したり、共通点を探したりできるなど、活用することができる。</li> </ul>

教科名		生活	教科書調査報告(教科書調査委員会)
調査の観点		発行者名	日本文教出版
A 内容 について	(1)基礎・基本の確実な定着に関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びのまど」があり、学習内容を振り返り、生活科に必要な知識や技能を身に付けさせ、児童の気付きを促すよう工夫されている。</li> <li>・各ページの作りが揃えられている。教科書を通して児童が見通しをもてるつくりになっているため、学習内容がよく分かる。また、ページ右上に、学習の中で注意すること(知識・技能)が書かれており、しっかりと確認しながら進めることができる。</li> <li>・ページの下に「資質・能力 三つの柱」に即した学習のめあてが示されており意識して学習を進めることができる。</li> </ul>	
	(2)課題解決のために必要な思考力や判断力、表現力等を育成することに関する配慮や工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な人と具体的に触れ合う活動が展開され、主体的に思考、判断、表現できるよう配慮されている。</li> <li>・「ちえとわざのたからばこ」の中にある、学び方やまとめ方を繰り返し学習の中で使うことができる。</li> </ul>	
	(3)資料が精選され、その内容が時代に即応したものになっているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構図や表情のよい写真が構成され、意欲の喚起へとつながる。また、イラストにより、学習活動の流れが分かりやすくなっている。</li> <li>・ICT機器を活用した多様な表現方法や活動例が紹介されている。</li> </ul>	
	(4)持続可能な社会づくりに向けた教育・ESDの視点が取り入れられているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ごみの分別や環境を守る工夫などの場面が上下巻で紹介され、ESDの視点が考慮されている。</li> <li>・単元「かんきょうのことを考えよう」では、リサイクルや節電、水など、多様な環境問題への視点が載せられており、環境問題を生活科と関連付けながら扱うことができる。</li> <li>・単元「大切につかおう」では、材料や道具を大切に使う心を育てることができる。</li> </ul>	
B 使用上の 便宜について	(1)児童が主体的に学習を進めやすいような便宜が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の学習内容が整理され、見通しをもって学習できる構成である。</li> <li>・単元ごとに野菜や虫・植物などについてポケット図鑑として資料が載せられており、活用して学習を進めることができる。</li> <li>・単元「きれいなはなをさかせたい」の単元では、種から実ができるまでの様子をページを折り返すことで、つなげて振り返ることができ、関心をもって学習に取り組むことができる。</li> <li>・「2年生がはじまるよ」という下巻最初の単元で、2年生になって挑戦したいこと、2年生の生活科でやってみたいことを考えて取り組む学習の流れが、児童の思いや願いに沿っている。</li> </ul>	
	(2)多摩市という地域の実態に即しているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域とのつながりや継続的な関わりを丁寧に扱っている。</li> </ul>	